

✓ [Answer & Explanation]  
The Human Hand and Early  
Tools(Total: 50 点)

---

✓ Q1. Vocabulary(6 points)  
Answers

(1) ② (2) ② (3) ③

---

[Explanation]

Q1. Vocabulary(各 2 点 × 3 問 =  
6 点)

(1) range

✓ 正解:② variety(幅・多様性)

- ① limit(限界)
- ③ boundary(境界)
- ④ distance(距離)

→ a broad range of ~ は「幅広い  
~ / 多様な~」。本文は「幅広い初期文  
化から」と言っている。

(2) implements

✓ 正解:② tools(道具)

- ① decorations(飾り)
- ③ containers(容器)
- ④ weapons(武器)

→ implements は「(特定の目的に使  
う)器具・用具」。tool より硬い語で、本  
文では tools と並列で「道具類」を表  
す。

(3) enhance

✓ 正解:③ improve(高める)

- ① weaken(弱める)
- ② replace(取って代わる)
- ④ restrict(制限する)

→ enhance は「能力・質・価値を高め

る」。本文は「手の能力を補い、強化する」  
と述べている。

---

✓ Q2. V-ing Identification (6  
points)

✓ 正解:②

---

[Explanation]

Q2 は knowing の働きを文ごとに識  
別する問題。

③ Knowing the history of early  
tools, we can understand human  
progress better.

→ 文頭の Knowing ~, S V は、主  
節 *we can understand ...* にかかる  
分詞構文。

→ 意味は「~を知っているので / ~を  
知ること」という 理由・条件。

→ 主節の内容(理解できる)に対し、  
Knowing 以下が「そう言える根拠・条  
件」を添えている。

他の選択肢:

① I talked to the man knowing  
how to use the tool.

→ knowing ~ が *man* を後ろから  
説明する 後置修飾(④)。

「道具の使い方を知っているその男」。

② Knowing the answer is not  
always enough ...

→ Knowing ~ が主語。「答えを知っ  
ていること」= 動名詞(①)。

④ His knowing of the truth  
shocked everyone.

→ knowing は名詞的に用いられ、

「彼が真実を知っていること」。  
やや硬い表現だが 単なる名詞(③)。

---

✓ Q3. Translation(20 points)  
(解答例)

たとえば、手だけでも土をかき分けて食べられる根を掘り出すことはできるが、掘り棒や貝殻のようなものを手でつかんで用いれば、その作業をより容易に、しかも持続可能な方法で行うことができ、指や爪への損傷を減らすことができる。

---

[Explanation]

文の骨格は A is capable of ~, but B is also capable of ... の対比。

・ the hand is capable of clawing soil to dig out an edible root

→ 「手は土をひっかいて(claw)食べられる根を掘り出すことができる」

- claw soil: 土を爪でかき分けるイメージ

- to dig out ~: 目的(掘り出すために)

・ a digging stick or clam shell is also capable of being grasped to do the job more easily

→ 「掘り棒や貝殻も、つかんで用いることで、より簡単にその作業ができる」

- be capable of being grasped: 受動の動名詞(つかまれる=つかんで使える)

- to do the job: 目的(作業をするために)

・ in a sustainable manner, reducing damage to fingers and

nails

→ 「持続可能な方法で、その結果、指や爪の損傷を減らしながら」

- reducing ~ は分詞で「結果」を表す(=そうすることで損傷が減る)。

---

✓ Q4. Reading Comprehension  
(18 points)

Answers

(1) ③ (2) ② (3) ③

---

[Explanation]

Q4. Reading Comprehension(各6点 × 3問 = 18点)

(1) 正解: ③ Tools were used to supplement and enhance the hand's abilities.

根拠: 第1文

natural objects began to be used as tools and implements to supplement or enhance the capacities of the hand

→ 道具は「手の能力を補い、強化するため」に用いられた、と本文が明示。

誤答の根拠

① only(手だけ)とは言っていない。むしろ道具を使う話。

② replaced(置き換え)ではなく supplement(補う)。

④ 目的は「損傷回避だけ」ではなく、能力の補強・効率化が中心。

---

(2) 正解: ② They allowed tasks to be done more easily and sustainably, reducing damage.

根拠:下線部

to do the job more easily, in a sustainable manner, reducing damage

→ 道具を使う利点が「より容易に」「持続可能に」「損傷を減らして」と具体的に列挙されている。

誤答の根拠

- ① 食物探しの話ではない。
  - ③ 象徴という記述はない。
  - ④ 協力の必要性については触れていない。
- 

(3) 正解:③ Reduced damage to fingers and nails

根拠:下線部末尾

reducing damage to fingers and nails

→ 利点として明示されているのは「指や爪の損傷が減る」こと。

誤答の根拠

- ① 動きが速くなるとは書かれていない。
- ② grip strength(握力向上)とは述べていない。
- ④ 食物の種類が増えるとは書かれていない。